



荒崎公園

ARASAKI PARK



…… 交通アクセス ……

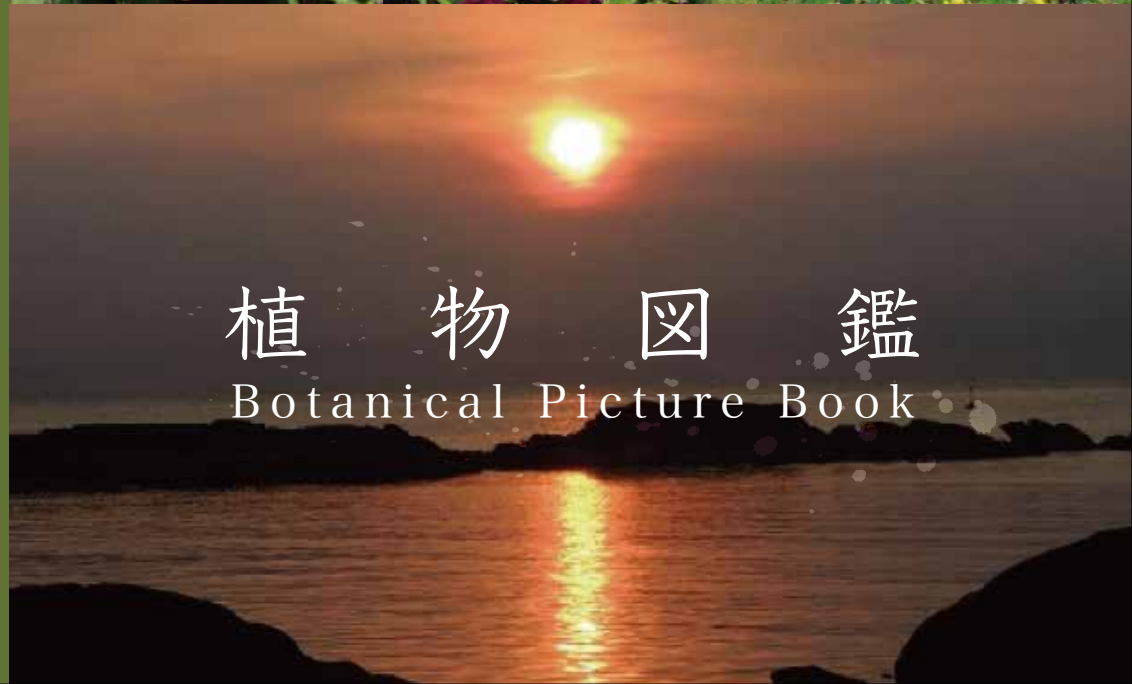
電車・バス
京急電鉄「三崎口」駅下車～京急バス「荒崎」行き終点

お車
横浜横須賀道路～三浦縦貫道「林」出口より10分



… インフォメーション …

- ・公園内の植物は採取できません。
- ・ゴミは各自お持ち帰りください。
- ・公園内で火気の使用は禁止です。
- ・駐車料金は1回1,000円です。



植物図鑑

Botanical Picture Book

[発行]長井海の手公園パートナーズ



学名: *Lippia nodiflora* 和名: イワダレソウ 科名: クマツヅラ

開花時期・・・7～10月

海岸の岩場や砂地に生育する多年生草本。葉は厚みがあり対生して葉の上半分に鋸歯がある。葉の付け根から穂状の花を1個づつつける。県内では三浦半島周辺に限られる。よく似たヒメイワダレソウはグランドカバーに用いる外来種。



学名: *Tetragonia tetragonoides* 和名: ツルナ 科名: ハマミズナ

開花時期・・・5～9月

海岸の砂地や岩場に生育する多年生草本。葉は厚みがあって細かい突起があるため白っぽく見える。葉の付け根に小さな黄色い花をつける。葉はおひたしやバター炒めなどにして食べられる。



学名: *Salsola komarovii* 和名: オカヒジキ 科名: ヒユ科

開花時期・・・7～10月

海岸の砂地に生育する1年生草本。葉は多肉質で海藻のヒジキを思わせる。花は花びらがなくめだたない。1年草のため種子で越冬する。若い葉をさつとゆでて酢味噌あえなどにして食べられる。



学名: *Hemerocallis fulva* var. *littorea* 和名: ハマカンゾウ 科名: ススキノキ科

開花時期・・・7～10月

海岸の岩場または草地などに生育する多年生草本。葉は厚みがあって冬季も枯れずに残る。花茎の先にオレンジ色の花をつけてよく目立つ。内陸性のノカンゾウとよく似るが、本種は葉が常緑なのが異なる。荒崎海岸には多くみられ、観察しやすい。



学名: *Boehmeria biloba* 和名: ラセイトソウ 科名: イラクサ

開花時期・・・7～9月

海岸の岩場などに生息する多年生草本。葉のはしわの多い様子をポルトガル語のラセイタというラシャのような毛織物をたとえた。花は地味で穂状の花序をつくる。県内では三浦半島に多く、真鶴半島にも分布が知られる。



学名: *Peucedanum japonicum* 和名: ボタンボウフウ 科名: セリ科

開花時期・・・4～9月

海岸の岩場に生育する多年生草本。葉は青白く厚みがあり、ボタンの葉を思わせるためこの名がついた。白い小さな花が集まった半球形の花序を出す。若い葉をてんぷらなどにして食べるほか、刻んだ葉をつけてリキュールにすることもできる。



学名: *Chrysanthemum pacificum* 和名: イソギク 科名: キク科

開花時期・・・10～12月

海岸の岩場に生育する多年生草。葉は厚みがあって裏面は綿毛が密生して白い。花びら状のものがなく黄色い小さな花を多数集めて茎の先につける。似てる仲間が多く、イソギクは関東地方から静岡にかけてのみみられる。



学名: *Corydalis heterocarpa* var. *japonica* 和名: キケマン 科名: ケシ科

開花時期・・・4～5月

海岸の草地や海岸に近い林縁などに生育する多年生草本。葉はニンジンの葉のように細かく切れ込む。横長の黄色い花を穂状に集まってつける。アルカイド系の毒があり食べられない。タネには糖質を含む種枕がついており、アリが散在する。



学名: *Cyrtomium falcatum* 和名: オニヤブソテツ 科名: オンシダ

開花時期・・・オールシーズン

海岸から山地の林内・林縁などに生育する常緑性シダ植物。羽状複葉の葉が放射状に展開する。この仲間は種類が多いが、本種は葉に強い光沢があるため見分けやすい。シダ類の群落は昆虫をはじめとする動物の隠れ場所となる。



学名: *Pittosporum tobira* 和名: トベラ 科名: トベラ科

開花時期・・・4～6月

沿海地の林内や林縁などに生育する常緑低木。葉は常緑で厚みがあり、縁が裏側へ反り返る。香りのある白い花が終わると、丸い果実の皮が裂けて中から粘液でべとべとする赤い種子が現われる。鳥などの野生動物に運ばれて拡がる。



学名: *Carex oahuensis* var. *robusta* 和名: ヒゲスゲ 科名: カヤツリグサ科

開花時期・・・4～6月

海岸の岩場などに生育する多年生草本。葉は厚みがあり冬も枯れずに残る。ムギに似た多数の穂を根元から出し、雌花の鱗片の先がのぎ状に突き出してひげのように見えることが名前の由来。三浦半島に点々と生育地があるが比較的珍しい。



和名: コマツヨイグサ 科名: アカバナ科

開花時期・・・4～10月

北米原産の外来植物で1年生草本。茎は地を這って拡がる。海岸や河原の砂地に多い。淡い黄色の花を咲かせ、しばむと写真のようにオレンジ色になる。若葉を塩ゆでして天ぷらなどに、花はほのかに甘くデザートへの添えものとして食べられる。



和名: ホコガタアカザ 科名: アカザ科

開花時期・・・8～10月

ヨーロッパ原産の外来植物で1年生草本。葉を刀の一種の矛(ほこ)に見立てた。葉のつきかたがユニークで、茎の下部では対生、上部では互生になる。荒崎公園周辺に多く、その他県内では東京湾側に点在する。若葉を塩ゆで冷水晒しで食べられる。



和名: テリハノイバラ 科名: バラ科

開花時期・・・5～6月

明るい草地や林縁などに生育するつる状の落葉低木。葉は羽状複葉で光沢がある。ヨーロッパに紹介され、つる状になる性質から交配母種として利用され、つるバラの祖先種となった。写真は実の状態、このあと赤くなる。